

年間指導計画表(シラバス)

| | | | |
|-----|--------|-----|-------------|
| 科目名 | 芸術・音楽Ⅲ | 単位数 | 2(通年) |
| | | 学年等 | 平日登校コース・3年次 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------------|---|
| 学習の到達目標 | 音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わることができる。 |
| 使用教科書 副教材等 | Joy of Music (教育芸術社) 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社) |

2 評価の観点等

| 観点 | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|------|--|--|--|--|
| 趣旨 | 音楽や音楽文化と、生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解し、主体的に表現や創作活動に取り組もうとする。 | 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌唱や演奏などの表現を行うことができる。 | 様々な表現形態による特徴を理解し、表現上の効果を生かして歌唱や演奏などの表現を行うことができる。 | 音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりや、我が国及び諸外国の音楽の特徴、また音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解している。 |
| 評価割合 | 20% | 30% | 30% | 20% |

3 評価の計画

| 学期 | 単元 | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 |
|----|--|-------------------|-------------------|
| 前期 | 「音楽Ⅲ」を学習するにあたって 楽典総合①(小テスト) ソルフェージュ(小テスト) 歌唱「日本歌曲」「イタリア歌曲」「ポップス」 器楽、アンサンブル(和楽器等) 鑑賞と批評 音楽の形式 弾き歌い<ピアノ又はギター>(実技テスト) 前期の学習のまとめ | ・提出課題 ・授業中の観察 | ・実技テスト ・授業中の観察 |
| | | 10% | 15% |
| | | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・実技テスト ・授業中の観察 | ・小テスト ・提出課題 |
| | | 15% | 10% |
| 後期 | 楽典総合②(小テスト) 伴奏付け(ピアノ又はギター) 日本と世界の文化と伝統芸能 新曲創作 合唱 指揮法 西洋音楽史、日本音楽史 芸術科発表会(実技テスト) 後期の学習のまとめ | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 |
| | | ・提出課題 ・授業中の観察 | ・実技テスト ・授業中の観察 |
| | | 10% | 15% |
| | | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・実技テスト ・授業中の観察 | ・小テスト ・提出課題 |
| | | 15% | 10% |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 |
|----|----|--|------------------|
| 前期 | 4 | 「音楽Ⅲ」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習の「ねらい」 楽典①……………音楽Ⅰ・Ⅱの内容の総復習 | 1 3 |
| | 5 | 表現のための技能(ソルフェージュ)……………視唱、聴音 表現意図をもって歌唱しよう①……………日本歌曲／イタリア歌曲 表現意図をもって歌唱しよう②……………ポップス | 4 2 2 |
| | 6 | 器楽①……………大正琴・ウクレレ等 器楽アンサンブル 楽典②……………「調判定／音楽用語と記号」 <小テスト(楽典・ソルフェージュ)> | 2 2 2 1 |
| | 7 | 鑑賞と批評① 弾き歌い……………ピアノ又はギターから選択 | 2 6 |
| | 8 | <実技テスト(弾き歌い)> 音楽の形式……………二部形式、ロンド形式、複合形式など | 1 1 |
| | 9 | 音楽の形式(楽曲分析)……………形式、調、拍子などからの分析 鑑賞と批評②……………楽曲分析に基づく感想・批評 前期の学習のまとめ | 2 2 2 |
| | 10 | 楽典③……………「和声と和音(コード)進行」 伴奏づけ……………ピアノ又はギターから選択 | 3 5 |
| | 11 | 日本の伝統芸能……………「紅葉狩」を様々な形態で～能・歌舞伎・神楽～ 新曲創作……………コード進行を応用した曲作り 指揮法……………基本の2拍子、3拍子、4拍子、強弱等 | 2 4 2 |
| | 12 | 美しいコーラス……………2部合唱(クリスマスソング) 器楽②……………クリスマスソング 鑑賞……………バレエ「くるみ割り人形」 | 2 2 2 |
| 後期 | 1 | 西洋音楽史……………古代から近現代、ポップスへ 日本音楽史……………古代から近現代、新しい流れへ <総合まとめテスト> | 2 2 2 |
| | 2 | コンサートを開こう①……………計画 コンサートを開こう②……………練習 コンサートを開こう③……………仕上げ | 1 2 2 |
| | 3 | 後期の学習のまとめ<実技テスト>……………芸術科発表会 | 2 |

5 その他

「音楽Ⅱ」を修得した生徒が選択することができます。自らが楽しむだけでなく、他者を音楽で楽しませるための様々なスキルを身に付けるための学習を行います。Ⅱまでの学習をベースに、音楽を専攻する学校に進学したい人、保育士など将来やりたい仕事のために音楽的スキルや表現力を身につけたい人等に必要、知識的にも技術的にもかなり専門的な内容(実技を伴う)になりますので、履修する際には注意してください。

年間指導計画表(シラバス)

| | | | |
|-----|--------|-----|-------------|
| 科目名 | 芸術・美術Ⅲ | 単位数 | 2(通年) |
| | | 学年等 | 平日登校コース・3年次 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------------|--|
| 学習の到達目標 | 美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験によって、生涯にわたり美術を愛好する心情を培い、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化について深く理解することができる。 |
| 使用教科書 副教材等 | 高校生の美術3(日本文教出版) |

2 評価の観点等

| 観点 | 美術への 関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
|------|---|--|---|--|
| 趣旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができる。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表すことができる。 | 美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価割合 | 30% | 20% | 30% | 20% |

3 評価の計画

| 学期 | 単元 | 美術への 関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 |
|-------|--|------------------------------|------------------------|
| 前期 | 鑑賞 美術Ⅰ、Ⅱの振り返り 鑑賞 オリエンテーション 鑑賞/絵画 鑑賞 表現/絵画 鉛筆画 鉛筆による細密描画 鑑賞/彫刻 鑑賞 表現/彫刻 フィギュア人形制作 鑑賞/デザイン 鑑賞 環境問題を考えた住宅設計 調べ学習 表現/デザイン 建築模型制作 前期のまとめ 発表 鑑賞 レポート | ・鑑賞 ・調べ学習 ・レポート作成 ・授業中の観察 | ・アイデアスケッチ ・作品制作 |
| | | 15% | 10% |
| | | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・作品制作 | ・作品発表 ・調べ学習 ・レポート作成 |
| 後期 | 表現/デザイン グラフのデザイン制作 表現/絵画 絵地図の制作 鑑賞/映像メディア表現 アニメーションの制作過程を学習 アニメーションの要素を含んだ作品制作 後期の学習のまとめ 発表 鑑賞 レポート | 美術への 関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 |
| | | ・鑑賞 ・調べ学習 ・レポート作成 ・授業中の観察 | ・アイデアスケッチ ・作品制作 |
| | | 15% | 10% |
| | | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
| ・作品制作 | ・作品発表 ・調べ学習 ・レポート作成 | | |
| | | 15% | 10% |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 |
|----|----|--|--|
| 前期 | 4 | 鑑賞「美しいとは何か」……………オリエンテーション 美術Ⅰ、Ⅱの振り返り 多様化する美術表現について学習。 | 1 |
| | | 鑑賞／絵画「西洋のまなざしとの出会い」……………江戸時代幕末より現代にいたるまで西洋 の美術表現が日本に与えた影響と変化の歴史を学習。 | 1 |
| | 5 | 表現／絵画「興味のあることを描く」……………モチーフについて時間をかけて観察し、 モチーフの形態や特徴をよく表現した鉛筆による細密描画を制作。 | 8 |
| | | 鑑賞／彫刻……………彫刻の表現の一つである木彫や現代多くの人々に関心を持たれている フィギュア人形について学習。 | 2 |
| | 6 | 表現／彫刻……………木の材質の粘土を用いて彫刻作品を制作。 | 9 |
| | 7 | 鑑賞／デザイン「自然と人間のかかわり」……………環境に優しい住宅のデザインについて 学習。 | 2 |
| | 8 | 表現／デザイン「自然と人間のかかわり」……………自らコンセプトを考え、住宅のデザインと 住宅模型の制作 | 10 |
| | 9 | 前期の学習のまとめ……………前期の制作を振り返り、友達の作品の鑑賞、学習内容の確認の レポートに取り組む。 | 2 |
| | 後期 | 10 | 表現／デザイン「情報の視覚化」イラストでグラフをデザインしよう。…………… グラフの 役割を学習し、テーマを考えグラフをデザインする。 |
| 11 | | | |
| 12 | | 表現／絵画「絵地図を描く」……………情報を説明するために大きく役立つ、イラストや絵を 用い、ユニークで見ると人に分かりやすいデザインの地図を考え、制作する。 | 2 |
| 1 | | 鑑賞／映像メディア表現「アニメーションの技法」……………アニメーション表現について学習 し、その表現技術を生かした作品制作に取り組む。 | 15 |
| 2 | | | |
| | 3 | 後期の学習のまとめ「これからの私と美術」……………これまで学習した美術の授業から、知識 に関すること、制作に関することを振り返り、今後、美術を社会の中で生かしていくためにはどう するか、自分が美術を生かすためにはどうするかを考える。 | 2 |

5 その他

美術Ⅲは、美術Ⅰ・Ⅱと同様に、表現や鑑賞の授業を通じて、新たな視点や感性で日常を見つめたり、何かをつくる喜びを感じたり、形や色の美しさを発見したりする科目です。美術で学んだ知識や経験は、将来の仕事や日常生活などのさまざまな場面で生かすことができます。素直な気持ちになって感じ取ったことや考えたことを豊かに表現しましょう。授業では、教師作成のテキストやワークシート、資料等も用いて学習します。また、実技用具やスケッチブック等も使用します。

年間指導計画表(シラバス)

| | | | |
|-----|--------|-----|-------------|
| 科目名 | 芸術・書道Ⅲ | 単位数 | 2(通年) |
| | | 学年等 | 平日登校コース・3年次 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------------|---|
| 学習の到達目標 | 書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わることができる。 |
| 使用教科書 副教材等 | 書道Ⅲ(東京書籍) |

2 評価の観点等

| 観点 | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|------|---|--|---------------------------------------|--|
| 趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。 | 創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を活用することができる。 | 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わうことができる。 |
| 評価割合 | 20% | 30% | 30% | 20% |

3 評価の計画

| 学期 | 単元 | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 |
|----|--------------------|--------------|----------------|
| 前期 | 漢字仮名交じりの書① 漢字の書 | ・観察 ・提出課題 | ・提出課題 ・提出作品 |
| | | 10% | 15% |
| | | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・提出作品 | ・観察 ・提出課題 |
| | | 15% | 10% |
| 後期 | 仮名の書 漢字仮名交じりの書② | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 |
| | | ・観察 ・提出課題 | ・提出課題 ・提出作品 |
| | | 10% | 15% |
| | | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | 15% | 10% |
| | | 15% | 10% |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 | |
|----|----|-----------------------------|---|-------------|
| 前期 | 4 | 漢字仮名交じりの書① 1漢字仮名交じりの書の比較 | 4 | |
| | 5 | 2自己表現への取り組み 3構成と展開の研究 | 3 3 | |
| | 6 | 4イメージに合った表現 漢字の書 | 3 4 | |
| | | 1楷書 楽毅論 | | |
| | 7 | 2行書 喪乱帖 3草書 真草千字文 | 4 4 | |
| | 8 | 4隸書 居延漢簡 | 4 | |
| | 9 | 5篆書 散氏盤 前期の学習のまとめ | 4 2 | |
| | 後期 | 10 | 仮名の書 1院政期以降の仮名 2爛熟から様式化へ | 3 3 |
| | | 11 | 3臨書・鑑賞「秋萩帖」 4臨書・鑑賞「寸松庵色紙」 5鑑賞・創作 古典に基づく創作 | 3 3 2 |
| | | | 漢字仮名交じりの書② | 5 |
| 12 | | 1生活の中の書 | | |
| 1 | | 2はがきやカード | 5 | |
| 2 | | 3生活を彩る書 4書を飾る | 5 4 | |
| 3 | | 後期の学習のまとめ | 2 | |

5 その他

書は、各時代の生活や文化と係わり合いながら変化と成長を遂げ、今に至っています。さまざまな時代の書を体験し、それぞれの表現を駆使して自分の表現に磨きをかけましょう。

年間指導計画表(シラバス)

| | | | |
|-----|---------|-----|-------------|
| 科目名 | 芸術・実用書道 | 単位数 | 2(通年) |
| | | 学年等 | 平日登校コース・4年次 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------------|--|
| 学習の到達目標 | 硬筆・毛筆書写における楷書と行書の一般的な知識を活用し、文字を正確に、かつ丁寧に書くとともに、実際の生活場面で使われる諸形式について理解を深め、活用できる。 |
| 使用教科書 副教材等 | ボールペン字実用練習帳(成美堂出版) |

2 評価の観点等

| 観点 | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|------|---|--|---------------------------------------|--|
| 趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。 | 創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を活用することができる。 | 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わうことができる。 |
| 評価割合 | 20% | 30% | 30% | 20% |

3 評価の計画

| 学期 | 単元 | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 |
|-------|---|----------------|----------------|
| 前期 | 実用書道について 硬筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作 | ・行動観察 ・提出課題 | ・行動観察 ・提出課題 |
| | | 10% | 15% |
| | 前期の学習のまとめ | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・提出課題 | ・行動観察 ・提出課題 |
| 15% | 10% | | |
| 後期 | 毛筆による学習(書写検定に向けて) 検定試験問題演習 作品制作 | 書への関心・意欲・態度 | 書表現の構想と工夫 |
| | | ・行動観察 ・提出課題 | ・行動観察 ・提出課題 |
| | 10% | 15% | |
| | 後期の学習のまとめ | 創造的な書表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| ・提出課題 | | ・行動観察 ・提出課題 | |
| 15% | 10% | | |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 |
|----|----|-----------|----|
| 前期 | 4 | 実用書道について | 4 |
| | 5 | [硬筆による学習] | 8 |
| | 6 | 検定試験問題演習 | 15 |
| | 7 | [作品制作] | |
| | 8 | 水墨画、絵手紙など | 6 |
| | 9 | 前期の学習のまとめ | 2 |
| 後期 | 10 | [毛筆による学習] | 8 |
| | 11 | 検定試験問題演習 | 14 |
| | 12 | [作品制作] | |
| | 1 | 水墨画、絵手紙など | 11 |
| | 2 | | |
| | 3 | 後期の学習のまとめ | 2 |

5 その他

実用書道では、日常生活における硬筆と毛筆の書の技能を習得していきます。生活の中の書に興味関心をもつようにしましょう。硬筆毛筆書写技能検定の内容を中心に、実技だけでなく理論的なことも学習していきます。

年間指導計画表(シラバス)

| | | | |
|-----|---------|-----|-------------|
| 科目名 | 音楽・演奏研究 | 単位数 | 2(通年) |
| | | 学年等 | 平日登校コース・4年次 |

1 学習の到達目標等

| | |
|---------------|--|
| 学習の到達目標 | 音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、理解したことを生かした演奏をすることができる。 |
| 使用教科書 副教材等 | 音楽の鑑賞資料と基礎学習(教育芸術社) |

2 評価の観点等

| 観点 | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
|------|--|--|--|---|
| 趣旨 | 音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、表現意図を表すために必要な知識や技能を活用しようとする。 | それぞれの楽曲の表現の特徴、その裏付けとなる理論や必要な技能を研究することで多角的に作品を理解し、それを生かした演奏表現を行うことができる。 | 楽曲の表現に必要な知識を生かし、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現意図をもって創造的に演奏表現するための技能を活用することができる。 | 地域や時代、それによる様式の違い等を踏まえた上で、音楽作品を尊重して鑑賞し、批評することができる。 |
| 評価割合 | 20% | 30% | 30% | 20% |

3 評価の計画

| 学期 | 単元 | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 |
|----|---|-------------------|-------------------|
| 前期 | 「演奏表現」を学習するにあたって時代や地域による表現の特徴 演奏技能を高めるための基礎演習①② 器楽演習①「多声音楽」 楽典①「音階と調」 <小テスト> ルネサンス～古典派の音楽 楽曲分析・研究 レポート・演奏発表 <実技テスト> | ・提出課題 ・授業中の観察 | ・実技テスト ・授業中の観察 |
| | | 10% | 15% |
| | | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | ・実技テスト ・授業中の観察 | ・小テスト ・提出課題 |
| | | 15% | 10% |
| 後期 | 楽典②「音程・和音」 日本と世界の伝統文化と芸能 器楽演習②③ 演奏技能を高めるための基礎演習③ ロマン派～近現代の音楽 楽器学・指揮法 楽典・音楽史総合まとめテスト 楽曲分析・研究 レポート・演奏発表 <実技テスト> | 音楽への 関心・意欲・態度 | 音楽表現の創意工夫 |
| | | ・提出課題 ・授業中の観察 | ・実技テスト ・授業中の観察 |
| | | 10% | 15% |
| | | 音楽表現の技能 | 鑑賞の能力 |
| | | 15% | 10% |

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 |
|-------------------------------------|--|---|--------|
| 前期 | 4 | 「演奏研究」を学習するにあたって……………年間学習予定、学習のねらい | 1 |
| | | 時代や地域による表現の特徴 | 3 |
| | 5 | 演奏技能を高めるための基礎演習①……………ソルフェージュ(視唱、聴音) | 4 |
| | | 器楽演習①……………ルネサンス～バロック時代の音楽 多声音楽「フーガ」の実践 | 2 2 |
| | 6 | 楽典①……………「音階と調」 | 2 |
| | | <楽典小テスト> | 2 |
| | | 古典派の音楽……………形式を分析しながら鑑賞・批評 | 3 |
| | 7 | 演奏技術を高めるための基礎演習②……………ソルフェージュ(視唱、聴音) | 2 |
| | | <ソルフェージュ小テスト> | 1 |
| | | レポート発表に向けて……………楽曲の選択、準備計画 | 1 |
| 楽曲分析・研究……………演奏する楽曲の研究 | | 4 | |
| 8 9 | 楽曲研究……………発表する楽曲の研究・演奏練習 | 4 | |
| | レポート・演奏発表 <実技テスト>……………研究(レポート)発表と演奏 前期の学習のまとめ | 2 2 | |
| 後期 | 10 | 楽典②……………「音程・和音」 | 2 |
| | | 日本と世界の伝統文化と芸能 | 2 |
| | | 器楽演習②……………日本または世界の楽器を選択 | 4 |
| | 11 | 演奏技能を高めるための基礎演習③……………ソルフェージュ(視唱、聴音) | 2 |
| | | ロマン派～近現代の音楽 | 4 |
| | | 楽器学 | 2 |
| | 12 | <楽典・音楽史総合まとめテスト> | 1 |
| | | 指揮法……………基本の2拍子・3拍子・4拍子 | 2 |
| | | 器楽演習③……………クリスマスアンサンブル | 3 |
| | 1 2 3 | レポート発表に向けて……………楽曲の選択、準備計画 | 2 |
| 楽曲分析・研究……………演奏する楽曲の研究 | | 2 | |
| 楽曲研究……………発表する楽興の研究・演奏練習 | | 5 | |
| レポート・演奏発表 <実技テスト>……………研究(レポート)発表と演奏 | | 2 | |
| 後期の学習のまとめ | | 2 | |

5 その他

「音楽Ⅰ」を修得した生徒が選択することができます。基礎的な知識・技能を踏まえた上で、音楽作品の解釈及び演奏に関する多角的な研究を行うなど、専門的な音楽に関する資質・能力を身に付けていきます。少し高度な音楽理論を扱い、実技を伴う研究発表も行いますので、一定程度器楽や声楽等の勉強ができていて、実践的に何らかの演奏技術をつけたい人、演奏面で音楽を専攻する学校に進学したい人向けの授業です。その点に注意して履修してください。

4 指導の計画

| 学期 | 月 | 単元及び学習内容 | 時数 |
|----|--|--|----|
| 前期 | 4 | 鑑賞「ビジュアルデザインとは何か」……………オリエンテーション デザインという仕事と役割、 その中でビジュアルデザインとは何かについて学習する。 | 1 |
| | 5 | デザインの基礎「サインのデザイン」……………言葉や文字を使わずに情報を伝えるピクトグラム について学習し、制作する。 | 7 |
| | | 平面・立体デザイン「ポップアップを用いたデザイン」……………効果的な強い印象を人に与える 仕掛け、ポップアップを学習し、ポップアップの仕掛けを用いた広告カードを制作する。 | 11 |
| | 7 | 映像メディアデザイン「コンピュータグラフィックスの世界」……………情報機器、パソコンの Word 機能を用いて模様、やデザイン制作の練習に取り組む。 | 4 |
| | 8 | 平面・立体デザイン「生活を彩る模様のデザイン」……………情報機器、パソコンの Word 機能を 用いてチラシ、ハガキ制作を行う。 | 10 |
| | 9 | 前期の学習のまとめ「作品展示と鑑賞会」……………前期で表現した作品の展示と鑑賞、 振り返り。 | 2 |
| 後期 | 10 | 図法・表示法「座り易さを追求した椅子の模型の制作」……………椅子の用途や役割、ユニークさ を追求するなど用途や意味に広がりがある椅子について学習し、自ら椅子をデザイン、椅子の 模型制作を行う。 | 12 |
| | 11 | | |
| | 12 | 平面・立体デザイン「カレンダーの制作」……………パソコンの illustrator 機能を用いて、 カレンダー制作を行う。 | 10 |
| | 1 | 空間デザイン「公園遊具のデザイン」……………使う人が楽しめる空間づくりについて考え、公園 の遊具を含めた公園のデザインについて考える。 | 11 |
| | 2 | | |
| 3 | 後期の学習のまとめ「美術を見せる、美術で伝える、美術がつなぐ」……………これまで学習した ビジュアルデザインについて振り返り、デザインの仕事の今後について考える。 | 2 | |

5 その他

視覚的な表現で、伝達する技術・知識を学習し、デザインの専門性を高め、実際のデザインの仕事で行われる制作を課題として学習するなど、将来の進学・職業で活かせるデザイン学習を目的とします。